

地理・歴史科

教科名	地理・歴史科	科目名	探究地理
科目の目標	(1) 地理に対する興味・関心を深め、基本的な地理用語を理解する。 (2) 地理の学習を通して現代社会についての理解を深め、主体的に関わる態度を身につける。		
履修学年	3年	類型	文系・理系共通
単位数	2単位	履修形態	選択
教科書	新詳地理B(帝国書院)	副教材等	地理統計要覧2020年版(二宮書店)
			新編地理資料2020(とうほう)
			新詳高等地図(帝国書院)

①学習の目標

- (1) 広い視野を持って地理的事象を系統的・地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養う。
- (2) 地理的な見方・考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。

②学習内容と授業の進め方

- (1) 第Ⅲ部 現代世界の地誌的考察
現代世界の諸地域を多面的・多角的に考察し、各地域の多様な特色や課題を理解させるとともに、現地誌的に考察する方法を身に付けさせる。
- (2) 大学入学共通テスト対策問題演習

③学習に当たっての留意点

- (1) 受験に対応するため、基本的な地理用語を理解させると同時に、関連他教科・他科目(政治経済や世界史・日本史など)の内容にも関連させ、横断的な見方・考え方を身につけさせることを心掛ける。
- (2) 大学入学共通テスト及び各大学の入学試験にも対応するために、内容を精選して授業を実施する。2年生の4単位で学習した系統地理的な見方・考え方を活用しながら、3年生では地誌的な見方・考え方を学び、さらに演習を中心に実施する。

④評価の観点

- | | |
|---------------------|---|
| (1) 関心・意欲・態度
【関】 | 現代世界の地理的事象に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、国際社会に主体的に生きる日本国民としての責任を果たそうとする。 |
| (2) 思考・判断・表現
【思】 | 現代世界の地理的事象から課題を見だし、それを系統地理的に考察したり、歴史的背景を踏まえて地誌的に考察したりし、国際社会の変化を踏まえて公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 |
| (3) 資料活用の技能
【資】 | 地図や統計、画像など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 |
| (4) 知識・理解
【知】 | 現代世界の地理的事象についての基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。 |

⑤評価の方法

定期テスト・小テスト等を実施、提出物や日常の授業への参加意欲とあわせて総合的に判断する。

⑥授業計画

月	単元名	具体的な学習内容	評価の方法など(観点項目を記入)
4	生活文化、民族・宗教	民族と宗教 民族・領土問題	
5	現代世界の諸地域	東アジア 南アジア 東南アジア 西アジアと中央アジア	・課題を世界的視野から地域的な相違点・分布に着目し、追究しているか。【思】 ・世界の課題に関して、多様性をとらえる視点や方法を理解し、その知識を身につけているか。【知】
6		北アフリカとサハラ以南のアフリカ 前期中間考査	・変容する現代世界の諸地域に対して、関心と課題意識を持ち、意欲的に取り組んでいるか。【関】
7		ヨーロッパ ロシア アングロアメリカ ラテンアメリカ	・諸地域の環境条件、他地域との結びつき、地域に生きる人々の営みなどを多面的・多角的に考察しているか。【思】
8		オセアニア 前期期末考査	・事例として取り上げた地域・国・州・大陸の地域の特色を理解しているか。【知】
9	共通テスト向け演習	地図と地域調査	・資料を活用して、考察の過程や結果をまとめたり、発表したりすることができるか。【資】
10		自然地理(地形・気候)	
11		資源と産業 後期中間考査	・共通テストレベルの問題が、実際に解けるかどうか。
12		人口、村落・都市 生活文化、民族・宗教 現代世界の諸地域	